

## 第3回 首里城復旧・復興推進本部会議

日時:令和2年12月15日(火)10:30~  
場所:6階第2特別会議室  
進行:知事公室 特命推進課

### 確認事項

中城御殿の整備について

(城郭内文化財展示収蔵機能の附加)

# 美術工芸品等（文化財等）の火災による被害状況

美術工芸品等1,510点のうち、特別収蔵庫以外で展示・保管していた391点が焼失。  
特別収蔵庫で保管していた品についても、熱や水による被害を受けている。

- 特に寄満特別収蔵庫(2階)で保管していた、漆器類の劣化被害が大きく、20年程度の長期間の修復作業が見込まれる。  
くろうるしきつちちようちゆうしっぽうつなぎちんきんじきろう くろうるしぼたんしっぽうつなぎちんきんじきろう
- 県指定有形文化財「黒漆菊花鳥虫七宝繫沈金食籠」「黒漆牡丹七宝繫沈金食籠」も被害を受けており修復が必要。
- 被害を受けた美術工芸品の修理の方針や展示室・収蔵庫の課題等について、(一財)沖縄美ら島財団が設置した「首里城美術工芸品等管理委員会」で専門家による検討が行われている。

	収蔵総数	所在確認数	状態確認調査			
			要調査数	要修繕数	修繕不要数	未調査数
絵画	183	156	59	6	53	0
漆器	487	285	285	112	0	173
染織	306	302	28	19	9	0
書跡	125	106	24	5	19	0
陶磁器	127	46	46	20	22	4
金工品・その他	282	224	37	32	5	0
合計	1,510	1,119	479	194	108	177

資料: 首里城美術工芸品等管理委員会\_(一財)美ら島財団 R2.11.25



## 【沖縄県の対応】

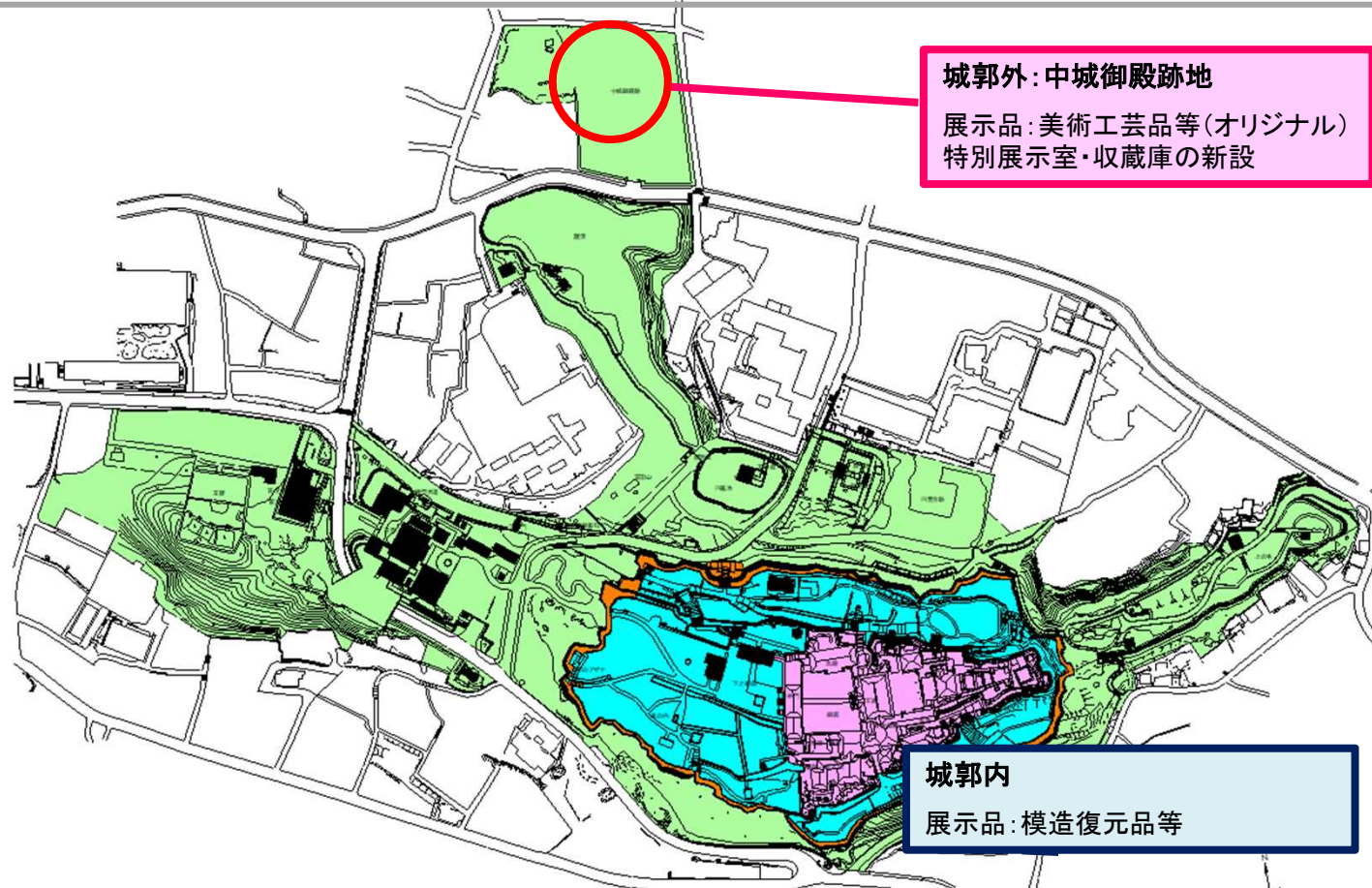
- 火災による被害状況から、重要な美術工芸品等の展示収蔵は城郭外で行なうべきとの有識者の意見が多く、県営公園区域での施設整備の検討が必要。
- 県営首里城公園の事業計画に位置付けられている中城御殿跡地が、歴史的背景や公園の魅力向上の観点からも有力な候補地と考えられ、県として中城御殿跡地の整備に向けた検討を進めたい。

# 首里城公園における特別展示室・収蔵庫の配置（案）

- 首里城復旧・復興ワーキンググループ会議によって、以下の案を作成。
- 県文化財課、文化振興課、都市公園課、（一財）美ら島財団による検討と有識者の意見を参考とした。

## 特別展示室・収蔵庫のあり方（案）

- ① オリジナルの美術工芸品等は、原則、城郭外（中城御殿跡）で展示・収蔵する。
- ② 城郭内での展示に関しては、模造復元品等を中心とした展示を基本とする。
- ③ 城郭内外の特別展示室・特別収蔵庫について、防災機能やバックヤード機能の向上が必要。



# 中城御殿跡地エリア別の整備計画(H23)

令和3年度見直し予定

## 【施設概要】

王国末期から戦前に至る王家ゆかりの屋敷で、平成22年度～26年度検討委員会を開催し、中城御殿跡地整備基本計画等を策定。令和3年度で基本計画の改訂を予定。

